

# 新渡戸文化アフタースクールスタッフの志

## 日本一のアフタースクールにしよう！！

### 【新渡戸稲造先生：教職員心得】

- 一、人の子を預かる以上は「親心」を以って、これに対すること
- 一、授業は「知育」のみに偏らざるよう、「思慮」と「判断力」の養成に努めること

### 【子どもたちにとってのアフタースクール】

- ・子どもたちが、長所・個性を伸ばす場
- ・子どもたちが、新たな挑戦をする場
- ・子どもたちが、心から安心して過ごす場
- ・子どもたちが、一人ひとり認められる場
- ・子どもたちが、仲間と過ごすことを学ぶ場

### 【大切な10の考え】

1. アフタースクールのスタッフは、子どもたちの成長に寄り添う大切な仕事です
2. 私たちは、子どもたちのいいところを発見し伸ばすことを大事にします
3. 私たちは、子どもたちの新たな挑戦を賞賛します
4. 私たちは、子どもたちがみんなで過ごすように心がけます
5. 私たちは、保護者を全力で支え、応援します
6. 私たちは、子どもたちの様子を保護者に積極的に伝えます
7. 私たちは、先生・保護者と連携して子どもたちを育てます
8. 私たちは、自らが子どもたちのよい目標となるように振る舞います
9. 私たちは、自らが学び成長し、それを子どもたちに還元します
10. 日本全国が目標にするアフタースクールをみんなで作りましょう！

### 【基本ルール：子どもたちへの対応】

#### 【子どもと大人がともに成長する場として…】

1. 相手を傷つけない行動や言葉
2. 自分のことを守り、大切にす
3. 相手の目を見てしっかり聞く
4. 責任を持つ

### ①挨拶

挨拶は子ども、保護者との関係づくりの基本、丁寧な挨拶でお迎え・お見送りを行う

- ・アフタースクールにお迎えする時は「こんにちは」「おはようございます」
- ・アフタースクールからお見送りの時は「さようなら」

## ②子どもの呼び方

その子の家庭、お友達からの呼び方などを考慮して、優しく呼びかける

- ・なるべく「くん」「ちゃん」「さん」がついた呼び方にする

## ③学習の対応

遊びの時間とのメリハリをつけ、集中して取り組むよう促す

- ・正解・不正解の判断はせず、きちんと書いているか、丁寧に取り組んでいるかを見る  
(学習の正解・不正解はご家庭で見ていただく)
- ・学習のチェックはスタッフが一覧表にて確認する

## ④プログラムの対応

子どもの個性が伸ばせるよう、環境作りや講師のフォローに十分配慮する

- ・プログラム前に講師に挨拶し、その日の注意点等を確認する
- ・プログラムの開始・終了時にはきちんと挨拶を促す
- ・雰囲気大切にしながらも、講師に対しての態度や丁寧な言葉遣いを意識させる
- ・子どもがプログラムに参加したくない場合は声かけを行う  
(どうしても参加できない場合は保護者に連絡する)

## ⑤遊び

子どもが充実して遊べる環境づくりに努める

- ・1対1で遊ぶのは避け、子ども同士なるべく大勢で遊ぶようにスタッフは促す
- ・外遊びを極力多く取り入れ、子どもたちがのびのびと外で体を動かせるようにする

## ⑥おやつ

おやつは子どもの大きな楽しみ、衛生面は万全に、食べるのはみんなで楽しく

- ・必ず手を洗ってから食べさせる (手は体操着などで拭かず、ハンカチでふく)
- ・楽しく、礼儀正しく食べるよう見守る (食べながら喋らない、立ち歩かない、正しい姿勢で)
- ・食べ終わったら自分の食べた場所を拭くようにする
- ・食べない子には食べるよう促す
- ・食べ残しは子ども同士でやりとりしない
- ・アレルギーのチェックは給食室とスタッフ間で徹底する
- ・おやつ配膳時、片付けの時はアルコール消毒をすること

## ⑦身支度

身支度は子ども自身が手早くきちんと出来るように促す

- ・着替えは基本的に子どもだけで行わせる (服のたたみ方やかけ方などはコツを教える)
- ・1年生の着替えは状況によってはサポートする (原則として女性スタッフが行う)
- ・高学年で配慮が必要な場合、更衣室で着替えを行う

## 【基本ルール：スタッフの行動】

### ①心構え

スタッフは子どもの成長に寄り添う立場、常に健康管理および人間性の向上を心がける

- ・日頃の健康管理に気をつけ、体調が優れない場合は出勤しない
- ・出勤予定が変わる際は確実に、できるだけ早く連絡をする
- ・時間厳守、遅刻・無断欠勤は厳禁
- ・子どもたち全体を見渡すように心掛け、安全に配慮する
- ・一人ひとりの子どもの心に寄り添った、その子に合った対応を心がける
- ・子どもたちのいいところを探し、積極的にその場で褒める
- ・子どもと真摯に向き合い、伝え、子どもの成長につながるよう努める
- ・常に学ぶ姿勢を持ち、子どもたちのよい手本となるよう心がける

## ②安全・衛生管理

子どもの安全管理者であるという認識を持ち、有事の際は子どもの安全確保を最優先する

- ・専任職員は「上級救命講習」を義務づける
- ・年に2回以上の訓練を必ず実施する（火災、震災）
- ・常にスタッフは安全管理責任者としての認識を持つ
- ・保健室へ子どもを連れて行くときは、必ず専任職員に報告する  
→アフター室に戻った後は、処置内容を報告し、適宜保護者へ連絡を行う（日誌に記入）
- ・医療機関へ搬送の場合、必ず保護者に連絡し、許可をいただく（緊急時は臨機応変に対応）  
（治療のための通院時つきそいは原則不可）

## ③保護者、学校への報告

保護者や学校との連携を取り、子どもたちの様子を密に報告する

- ・子どもの様子を保護者・学校へ伝える（怪我など健康面のことは漏れなくご連絡する）
- ・子どもの様子は自分だけで把握せず、なるべく多くの人に共有する

## ④身だしなみ

子どもに接する仕事であることを認識し、清潔感のある服装、身だしなみを心がける

<共通>

- ・髪の色のかつい変色は不可
- ・アクセサリーはつけない（結婚指輪は可）
- ・爪は短く清潔にする
- ・香水はつけない、制汗剤等は匂いのきつくないものを使用
- ・カラーコンタクト不可
- ・短パン（7部丈含む）・穴あきジーンズ・腰履きは不可、素足不可

<男性>

- ・髭は必ず剃る

<女性>

- ・過剰な露出等を避けた節度ある服装
- ・ネイル不可

## ⑤学校周辺での行動

スタッフは学校周辺でも子どもたちの目に触れることに配慮し、節度ある行動を心がける

<来校、下校時>

- ・交通規則、喫煙など、ルールを守った行動を行う
  - ・新渡戸文化小中学校の子どもで気になる点がある場合、きちんと名乗って声をかける
- <休憩時>
- ・学校周辺で飲食する場合の立ち居振る舞いに配慮する

## ⑥電話対応

社会人としての丁寧な電話対応を心がける、また連絡連携ミスがないように注意する

- ・なるべく短時間で担当者につなぎ、用件をしっかりと伝える

## ⑦携帯電話、カメラ

子どもへの影響、個人情報保護に配慮し、個人の携帯電話は勤務中に使用しない

- ・勤務中は携帯電話・スマートフォンを所持しない
- ・随伴時はアフタースクール所有の携帯電話を使用する
- ・緊急の私用電話の場合はスタッフルームで行う
- ・カメラはアフタースクール所有のカメラを使用する

## ⑧個人情報

子どもの個人情報の漏洩に厳重に注意する

- ・子どもの名前、住所、電話番号、写真等の印刷された紙は、利用後必ずシュレッダーする
- ・個人情報の資料を絶対に勤務場所以外に持ち出さない（自宅での業務は行わない）
- ・子どもの情報を個人のPCやソーシャルメディアに絶対に取り込まない、発信しない
- ・電車や飲食店等、外部での会話に注意する

## ⑨スタッフコミュニケーション

スタッフ間のコミュニケーションを確実に、チームとして総合力を発揮する

- ・「こんにちは」「おつかれさまです」のあいさつを心がける
- ・出勤したら必ず日誌に目を通す
- ・勤務開始・終了時にミーティングを行い、当日の注意事項の確認や子どもの情報を共有する
- ・連絡事項が流れるメーリスは必ず確認する（子ども個人の様子等の情報はメーリスでは流さない）
- ・業務に関する疑問点があれば聞く、間違いがあれば教え合う
- ・スタッフ間の会話も、言葉遣いに気をつける

## 【保護者の皆様へ】

「新渡戸文化アフタースクールスタッフの志」は、アフタースクールのスタッフ内で話し合いを行い、「こうありたいね」という思いを形にしたものです。スタッフは今後、この志の通りになるよう努力いたしますが、必ずしもそうならないこともあるかもしれません。保護者の皆様にはぜひ、私たちを見守っていただき、スタッフがこの志の通りに出来ている時には励ましのお言葉を、そうでない時にはご注意のお言葉をおかけください。

私たちが目指す「日本一のアフタースクール」に近づき、子どもたちが素晴らしい体験が出来るよう、ご一緒に力を合わせていければと思っております。スタッフ一同ますます頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

2012 年 4 月作成  
2012 年 10 月改訂  
2013 年 4 月改訂  
2019 年 3 月改訂